

## 阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区气象台  
地域火山監視・警報センター

＜噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）が継続＞

本日（16日）18時28分に、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上200mまで上がりました。中岳第一火口で噴火が発生したのは、2016年10月8日以来です。

【防災上の警戒事項等】

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### ○ 噴火等の状況（図 1、2）

本日 18 時 28 分から 55 分頃にかけて、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 200mまで上がりました。噴火に伴う空振は観測されていません。

阿蘇山では、火山性微動の振幅は、14 日夜から昨日（15 日）21 時頃まで大きな状態で経過していましたが、その後は変動を繰り返し、本日 18 時頃から小さな状態で経過しています。

---

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、九州大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。



図1 阿蘇山 噴火の状況

（上：草千里監視カメラ、下：阿蘇火山博物館提供による火口カメラA）

本日18時28分から55分頃にかけて、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上200mまで上がりました。

$\mu\text{m/s}$

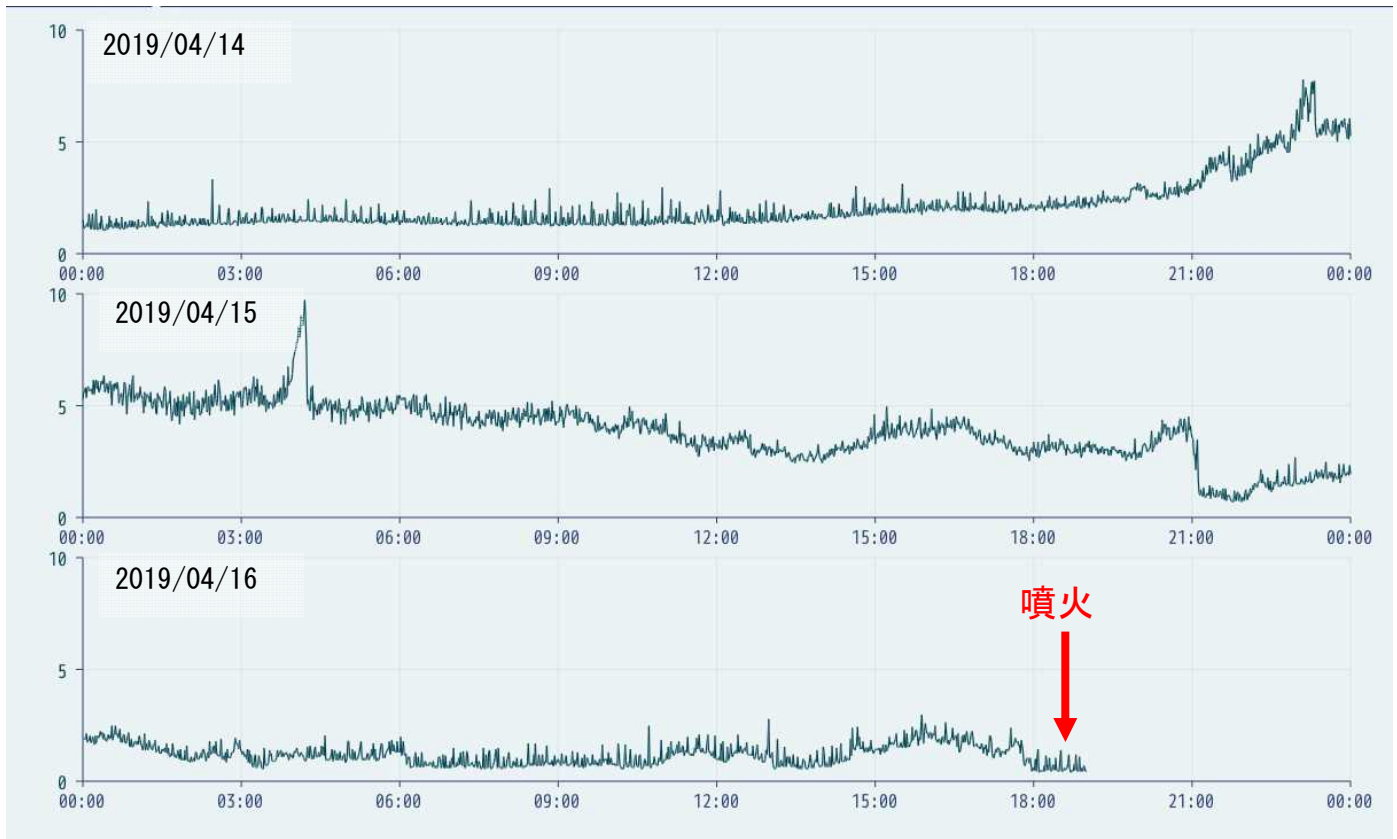


図 2 阿蘇山 火山性微動 1 分間平均振幅  
(中岳西山腹観測点南北動成分、4 月 14 日～4 月 16 日 19 時頃)

阿蘇山では、火山性微動の振幅は、14 日夜から昨日 21 時頃まで大きな状態で経過していましたが、その後は変動を繰り返し、本日 18 時頃から小さな状態で経過しています。

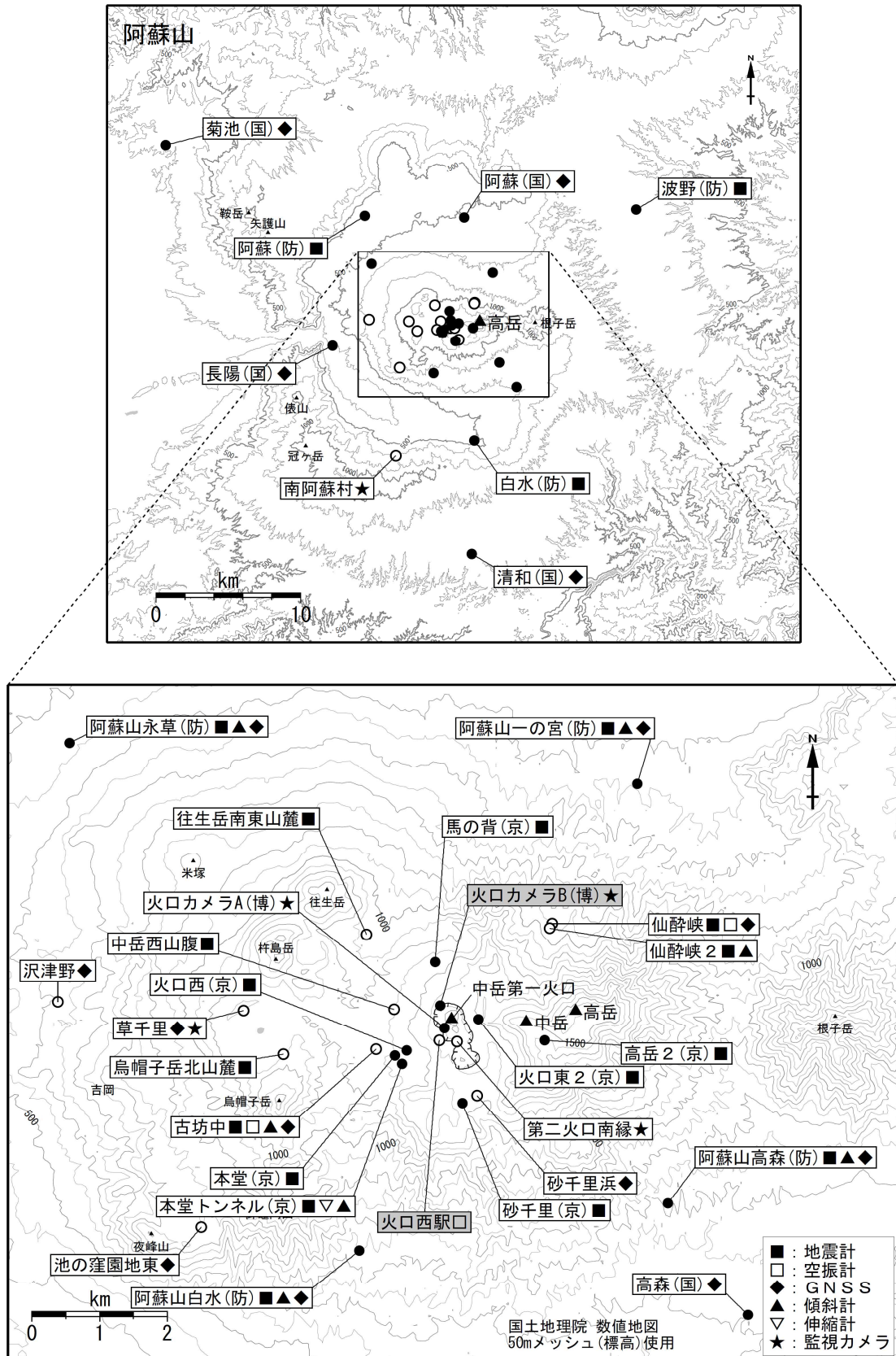


図 3 阿蘇山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(京) : 京都大学、(防) : 防災科学技術研究所、(博) : 阿蘇火山博物館、(国) : 国土地理院  
図中の灰色の観測点名は、噴火により障害となった観測点を示しています。